

整理番号 2023P-158
補助事業名 2023年度児童、高齢者、障がいのある人等が相補的に関わることのできる地域共生社会づくりを促進する活動、調査・研究等補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人DeepPeople

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

福祉の分野において農福連携が進んでいるが、コロナ後商品の需要が落ち込み売上が減少している。雇用されている障がいのある方々の工賃も減少している状況である。またコロナ後、子ども食堂のニーズが高まっている。特に子どもたちの長期休暇には給食がなくなるため、この期間に満足に食事ができずに痩せていってしまう子どももいる。これら2つの課題を同時に解決するのが「フードスマイリング」。

(2) 実施内容 (https://peraichi.com/landing_pages/view/foodsmiling/)

1. 食材配布

お米の寄贈を9月に47施設8313名、レトルトカレーの寄贈を3月に46施設、8133名の子どもを対象に実施した。



2. 食育事業

8/20 ブルーベリー狩り

子ども食堂の子どもたちとその保護者で、青葉仁会さんが運営しているブルーベリー農園に行き、ブルーベリー狩りを行った。また取ったブルーベリーをジャムにして持ち帰っていただいた。ブルーベリー農園ができるまでの背景や、美味しいブルーベリーの見分け方を青葉仁会さんから教えていただいた。



10/28 おにぎりパーティ

青葉仁会さまのお米の製造現場を伝え、寄贈したお米がどのようにできるのかを知っていただく「おにぎりパーティ」を実施した。寄贈した子ども食堂のこども達と約60名とオンラインで繋ぎ、食の大切さ、生産者さんへの感謝の想いを伝える機会となった。



3月 フードスマイリング新聞発行

子ども食堂の子どもたちに、寄贈の食材について誰がどのように製造・生産してくれているのか知ってもらうことで、食べ物を大切にする気持ちを醸成する「フードスマイリング新聞」を配布した。新聞にはわくわくプレゼントコーナーも設置し、クロスワードを回答した児童に企業より提供いただいた素敵な商品をプレゼントした。

<https://www.deeppeople.jp/pdf/foodsmiling2023.pdf>



3. SDGs アクション開催

<https://www.deepeople.jp/sdgsaction/2023/index.html>

10月は食品ロス削減月間であることから、食を大切にする心を醸成するとともにSDGsについても啓発する「食SDGsアクション」を10/22(日)に開催し、約1000名の方に来場いただいた。



2 予想される事業実施効果

障がいがある方々の製造・生産した商品の魅力を伝え、福祉事業所の品物への偏見を払拭する。また寄贈先の子ども達や子ども食堂を運営している方々の障がい理解が深まり、子どもたちが成長していく中で、障がいがあるなしに関わらず、互いに違いを認め合え、助け合える社会を実現に寄与する。我々の取り組みを企業にも伝え、企業支援が増えることで、子どもとその保護者が経済的にも精神的にも安心して生き生きと暮らせる社会の実現に寄与する。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

フードスマイリング新聞

<https://www.deepeople.jp/pdf/foodsmiling2023.pdf>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人DeepPeople
(トクティヒエイリカツドウホウジンディープピープル)

住 所 : 〒550-0002
大阪市西区靱本町2-2-17 RE-006-401号室

代 表 者 : 理事長 牧 文彦 (マキ フミヒコ)

担 当 部 署 : 企画・開発 (キカク・カイハツ)

担 当 者 名 : プロジェクトディレクター 中尾 榛奈 (ナカオ ハルナ)

電 話 番 号 : 06-6479-1302

F A X : 06-6479-1301

E - m a i l : info@deepeople.jp

U R L : <https://www.deepeople.jp/>